

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用語等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和5年10月12日(木)

みんなの居場所

学校では陸上記録会の練習費が少なくて、眺めながら担任の先生方や子供達を羨ましく思う。青春という簡単な言葉だと少し薄っぺらだが、教師と子供達が真剣に向き合う姿は、学校そのものだと思います。

近年、教員不足が深刻化している。その理由として「ブラック」な勤務状況が取沙汰されるが、私はそうは思わない。要は仕事に対する考え方であろう。確かに、保護者や児童、社会の価値観や学校に対する期待は変わっているかもしれないが、私は苦しみや辛みがあるからこのの、教師員利を感じるということができるのだ。教職を目指す者が増えることが祈るばかりだ。

経験則①「人間関係」
私達教師は、普通科の業務パフォーマンスの中で感覚的に身に付いていくスキルと法則があります。いわゆる経験則です。経験則とは実際に経験してきた事柄から見いだされる法則のことです。私の経験則は、大半は当たり前で、言葉にすると「教職の5年目に入ると、子供達に話しかける時は必ずあるいは子供達、保護者の監視を覚悟して話しかける」と思っています。